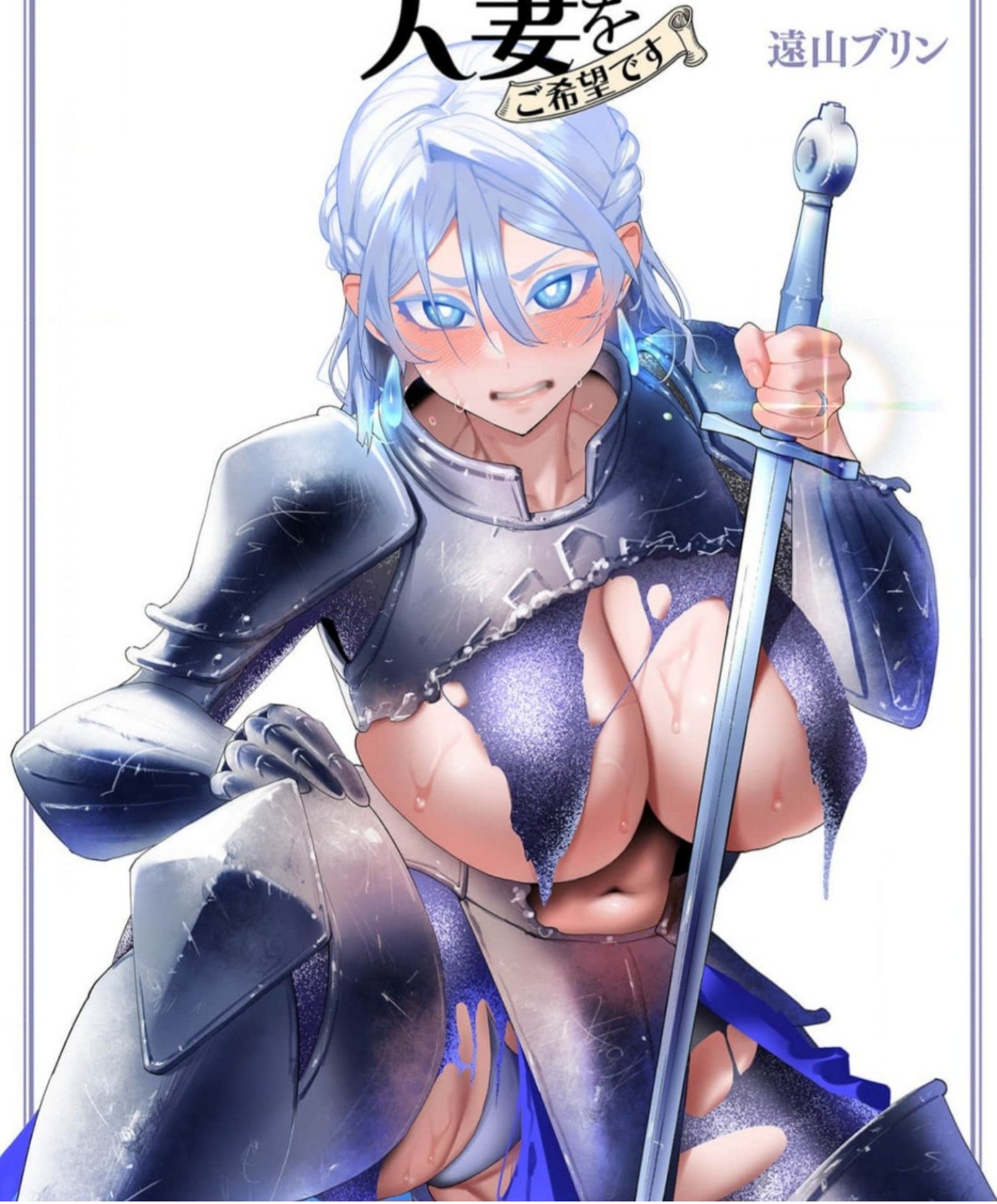


第25話

# 勇者さまは報酬に 人妻を

ご希望です

遠山布林





4人とも大魔王を崇拜し  
主君と部下の関係を越えた  
好意を抱いていたが



妻に選ばれたのは  
バルドームだった

しかしその後  
大魔王は勇者によって  
封印されてしまい




バルドームは  
大魔王の代理として  
魔王となる


バルドームの下に就くことに  
反発した3人は各地に散り



それぞれ夫を迎えて  
今に至る……




僕たちが  
何故ここに…



だって？

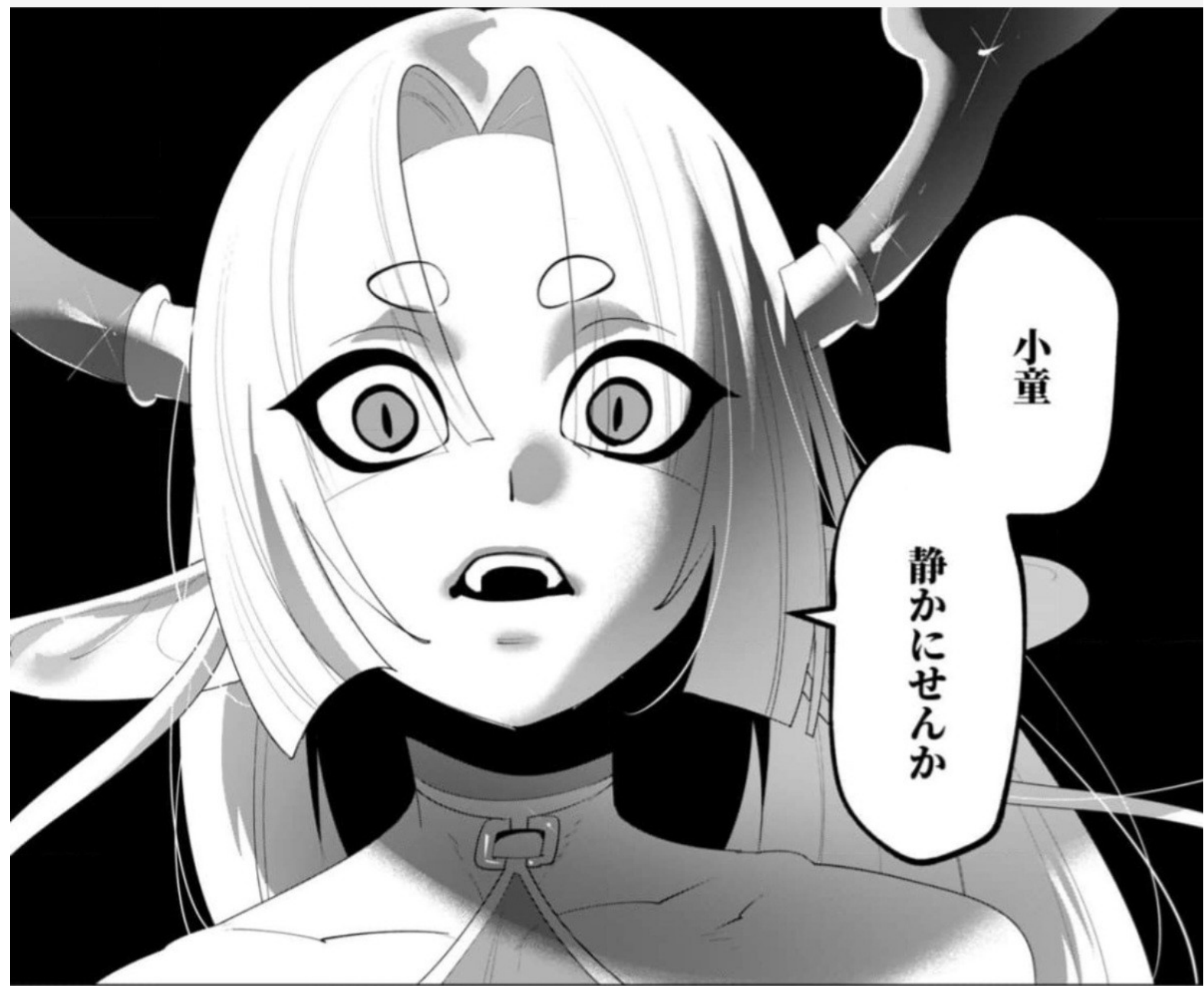
大魔王直属四天王  
絶死のエディーン  
(デューラハン)



決まってるじゃ  
ないか







小童

静かにせんか



身体が勝手に  
震えてやがるっ…!!

なんだ…っ

!?

クッ  
クッ







泣いたらもっと  
可愛くなるかのう…♡



…俺様にはっ

バルドーム様の部下っていう  
誇りがあんだよっ!!

侮辱することは  
許さねえっ…!!

……っ

…ふざけんなっ…



大魔王直属四天王  
千里眼のロゼッテ  
(サイクロプス)

だけどあなた

力の差が  
分からないの…？

しょうがない  
わねえ





教えてあげるわ

...ああ？

!?



あなたが

弱くしてあげよう♡

カッ



俺様の力が  
通用しないっ!?

やめろっ!!  
離せっ!!



あらあ…?!

はっ!!



暴れないの♡

やめろおっ…

さっ!!



こんな状況なのに  
硬くして…  
悪い子♡

てめえが  
無理矢理ッ…

ぐうっ…

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!

はっ!!



あなたがこうやって  
弱い女をいじめて



私この目で  
見ていたわよ



己の欲望をぶちまけるよ♡



うああ——っ!!



何しやがるっ…!!

ふざけんなよ  
テメエ!!

…クソっ!!

はあっ  
はあっ  
はあっ…



あなたがいつも  
してきたコトじゃない♥

あら？



まだ教え足りない  
みたいねえ…

!



分かるまで  
教えてあげるわ♥

た  
す  
ん

こい  
大きくしなさい

とん  
とん

ん

!!

なんだ…っ!?  
自分の意思とは関係なく

勃起してやがるっ!!

ん  
ん  
ん

ん



や...めろ...っ



お馬鹿な子も  
可愛いけどねえ...♡



いい加減  
分らない？



この俺様が女に  
犯されるなんてっ…!!

うあああつ…

ガク  
ガク



何もできねえっ…

ふっ

はあっ

ははははは  
ははははは  
ははははは

ガク  
ガク



…そうよねえ

でも



あら震えてる…

怖いの  
かしら？

ガク  
ガク



あとちよっと  
だからね…♡

カチカチ



あ…うく…

ハハ…♡

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ





分かってよかった♡



なっ





ねえ？  
バルドーム

カッ

カッ

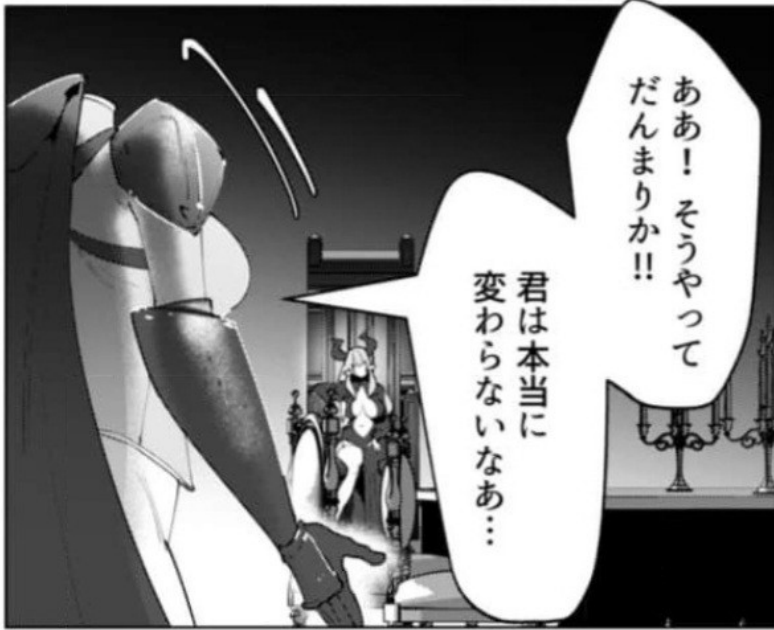


そうかい…

アッ



君目的を  
忘れてはいないだろうね…？



ああ！そうやって  
だんまりか！！

君は本当に  
変わらないなあ…

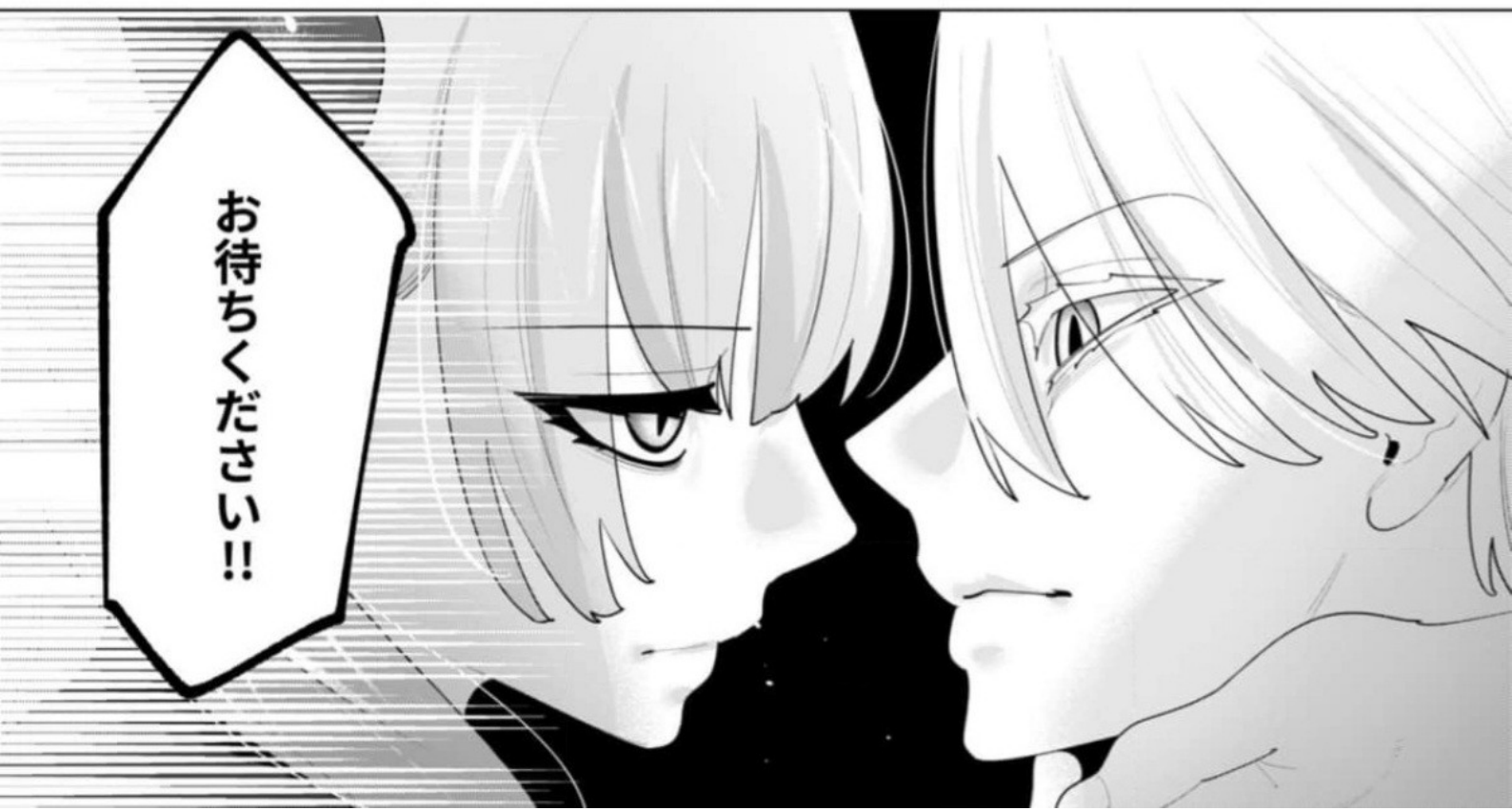


……



今まで一体  
何をしていたんだい？

いつになったら  
大魔王様は復活するんだ！！





「こちらをご覧くださいっ!!

バルドーム様の命令で  
手に入れたものです!!

ん!!



ええ

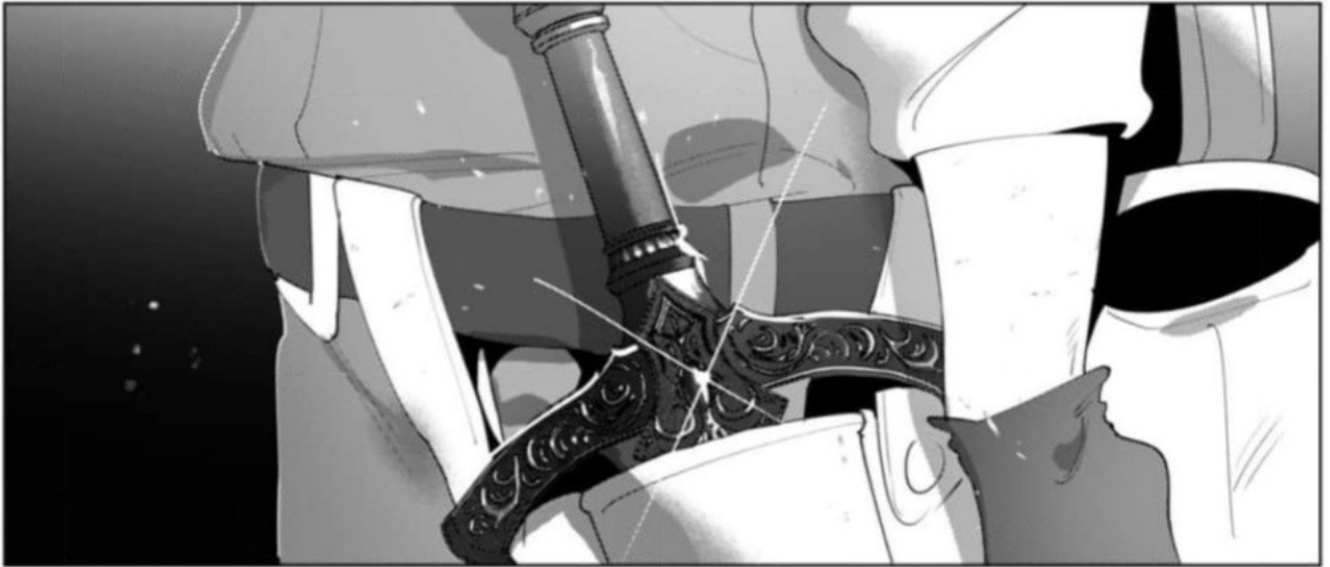
これには  
大魔王様の封印を解く方法が  
記されています



それは…

解呪の書か





へえ…

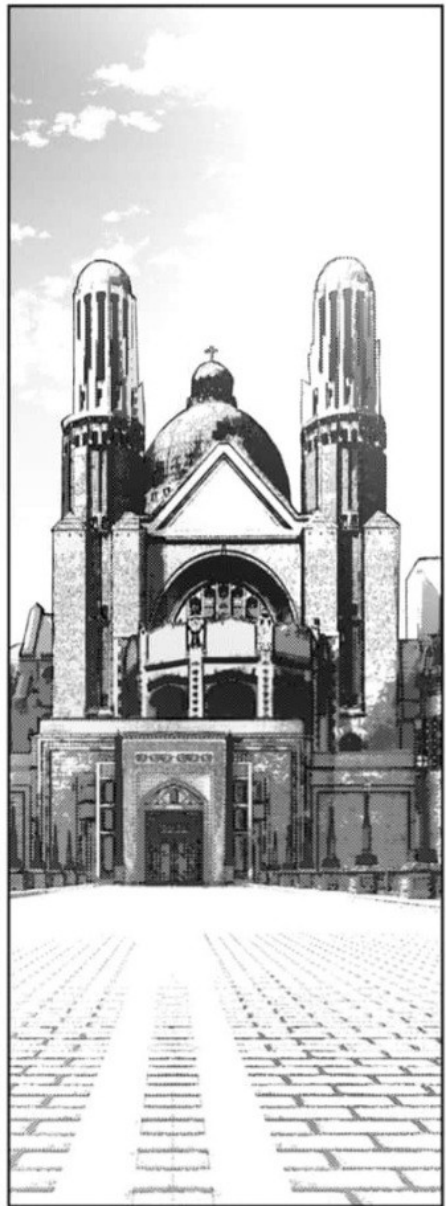
ガッ

ガッ



ここがサドラム王国か…







人妻好きの変態野郎だと  
耳にしたから  
どのような奴かと思ったが...

意外と普通で  
拍子抜けだぞ...

サラム王国 国王  
ジーク・サドラム



おい



それにしても  
なかなかいい女達を  
連れておるな

私の後宮ハレム  
に加えて  
やってもよいぞ?

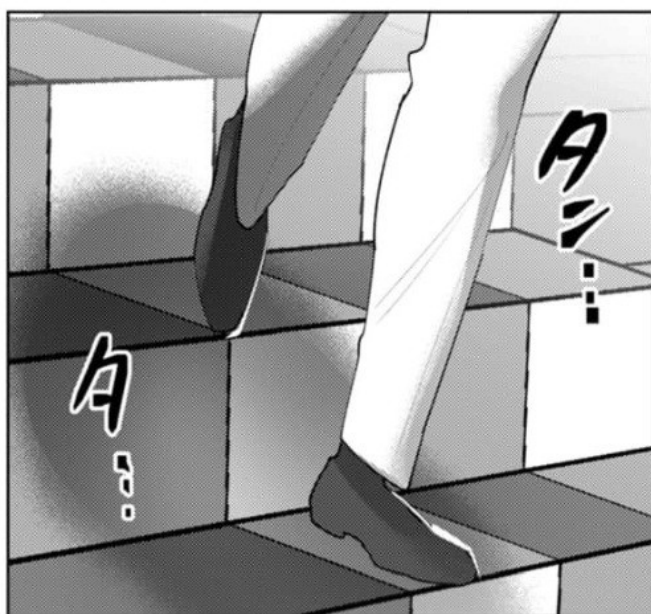
ふむ...





ワナトリア王国  
ハンガルド騎士団団長よ!!

…えっ



タン

タ



おーいっ!!

早く来ぬかつ!!



あなたはっ…!!

!!







ミア



ああ

勿論忘れてないさ



君にどうしても話さなくてはならない事がある



ワナトリア王国の王として...